

2020年度

市政要望に対する回答

① 市政運営に関する要望

② 2020年度予算に係る

(1) 全市に関する要望

(2) 各区に関する要望



—— 社民党仙台市議団 ——

社民党仙台市議団では、将来を展望した政策などを「市政運営に関する要望 14 件」および「予算に係る会派要望 188 件（全市に関する要望 105 件、各区に関する要望 83 件）」にとりまとめ、2019 年 10 月に仙台市長に提出いたしました。
2020 年 1 月 24 日に回答を受けましたので報告いたします。



代表

辻 隆一 (7期)
(宮城野区)

相談役

小山 勇朗 (9期)
(太白区)

幹事長・政調会長

石川 建治 (6期)
(泉区)

会計・副政調会長

ひぐちのりこ (3期)
(青葉区)

副会計

いのまた由美 (1期)
(太白区)

*連絡先 〒980-8671
仙台市青葉区国分町 3-7-1 社民党仙台市議団 控室
TEL 022-261-1111 (内4658、4659) 022-214-8717 (直通)
FAX 022-711-3453

2020年1月

「市政運営に関する要望」
に対する回答

(社民党仙台市議団)

<要望>

「(仮称) 子どもの権利条例」を制定すること。

<回答>

児童の権利の推進に関する事項は、児童福祉法など児童の権利に関わる法律の改正等により、着実に児童の権利擁護に関する意識の啓発、趣旨の普及及び浸透が進んでいるところであり、今後具体の施策を進めていく中で、条例としての制定の必要性等を含め、幅広く検討してまいりたい。

(子供未来局)

<要望>

「(仮称) 交通基本条例」を制定すること。

<回答>

交通政策基本法の成立を受けた、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正や、それに伴う基本方針なども踏まえ、市民生活を支える公共交通施策のあり方等について、次期「せんだい都市交通プラン」の策定も見据え、検討を進めてまいりたい。

(都市整備局)

<要望>

「(仮称) 給付型奨学金条例」を制定すること。

<回答>

給付型奨学金については、国において令和2年度から修学支援制度を拡充することとしており、高等教育における給付型奨学金や授業料減免が拡充さ

れる。今後も国の動向も見定めつつ必要に応じ働きかけを行ってまいりたい。また、宮城県による高校生等奨学給付金のほか、各種団体等による奨学金等の制度が既に実施されていることから、これらの制度について、必要とする児童生徒、保護者が利用できるよう、引き続き情報提供を行い周知に努めてまいりたい。

(教育局)

<要望>

「(仮) 公契約条例」を制定し、労働条件などの対策を講じること。

<回答>

「公契約条例」の制定については、労働者の労働条件の確保は本来、労働政策、賃金政策に係る全国的な法制の問題と考えており、一自治体の条例をもって、本市発注業務に従事する労働者のみを対象とする制度を設けることの是非に関しては、様々な意見もあり、全国的な議論も十分には深まっていないものと認識していることから、今後も国や政令市の動向を注視してまいりたい。

労働条件などの対策については、本市が締結する一定の契約について、低入札価格調査を実施し、賃金の支払い状況を確認しているほか、公共工事においては、監督員による施工体制の点検を通じて、下請代金や賃金の適正な支払いを促しているところである。また、工事においては、社会保険等への加入を入札参加登録の条件とするとともに、低入札調査の基準額や最低制限価格の適宜見直しを行うなどの対応を実施しており、これらの契約制度の運用を通して労働条件の確保に努めてまいりたい。

(財政局)

<要望>

「(仮称)まちづくり活性化条例」を制定し、都心再構築に寄与する基金制度等を創設すること。

<回答>

せんだい都心再構築プロジェクトの第一弾施策は、民間事業者による都心部建築物の更新誘導などにより都心部の機能強化を図るものであり、その推進にあたっては、条例という法形式より、民間のニーズ等を的確に把握しながら、より実効性のある施策を機動的かつ柔軟に打ち出す手法が適切なものと考えている。

プロジェクトに要する財源については、第一弾施策として打ち出した老朽建築物の建て替え促進と市街地再開発事業の推進のための支援策なども含め、相当規模になるものと認識している。一方で、民間開発の動向やその内容、規模、進捗は時々の経済情勢などに対応するものであり、支援の時期や金額、また必要な全体の支援額総額について、予見見通しを立てることは難しいことから、財源確保については基金制度によらず、事業実施の可能性を見極め、協議が整った案件について順次、所要額を予算案に計上し、議会における審議を経てまいりたい。

(まちづくり政策局)

<要望>

行政サービスの多様化に対応するとともに、コンプライアンスの遵守、過重労働の解消に向け適正な組織および人員体制とすること。

<回答>

少子高齢化等の社会情勢の変化により行政ニーズはますます多様化していくことが想定されることから、本市としては、組織・人員体制を整備するとともに外部資源の活用を適切に進めるなどしながら、今後とも市民のニーズ

に的確に伝えられるよう努めてまいりたい。

コンプライアンスについては、庁内に推進体制を構築し、平成31年4月に改定した「仙台市コンプライアンス推進計画」に基づき、職員研修の実施や職場内の意見交換等により、職員一人ひとりへのコンプライアンス意識の浸透を図るとともに、情報や課題を適切に共有し、助け合える風通しの良い職場づくりに取り組んでいるところである。

超過勤務の縮減については、職場の状況に応じた組織の見直しや適正な人員配置に努めるとともに、超過勤務縮減を組織目標として設定し引き続き取り組んでいるほか、職員自らの超過勤務時間と目標とした上限時間を比較できる一覧を配布し、職員個人に対しても意識の醸成・浸透を図る取り組みなどを実施しているところである。また、人事委員会勧告においても言及された超過勤務命令の上限時間の設定についても、令和2年1月から導入したところであり、一層の意識の醸成・浸透を図ってまいりたい。

今後も、こうした取組みを継続的に行っていくことでコンプライアンスの推進や超過勤務の縮減に努めてまいりたい。

(総務局)

<要望>

業務委託を含む各種請負契約にあたっては、公正・適正な入札制度の確立を図ること。特に、低入札価格調査制度の厳格な運用を図ること。

<回答>

本市の入札契約制度については、公正・公平な競争が成り立つことを旨としている。

入札制度については競争入札を原則としているが、入札において行き過ぎた価格競争が行われることは、業務の品質の低下や受注者自身の経営の悪化のほか、働く人の労働条件へのしわ寄せ等の弊害も招きかねないことから、工事請負契約、工事に係る業務委託契約、建築物の清掃業務・警備業務委託

契約について低入札価格調査を実施しており、調査の際には、労務に係る価格設定の水準や労働社会保険諸法令の順守状況などについて確認を行い、適正な運用に努めているところである。

(財政局)

<要望>

市ガス事業の民営化については、市有財産の売却問題、職員の身分保障の視点に立ち、慎重な検討を進めるとともに、市民の理解を得る努力を行うこと。

<回答>

ガス事業の民営化については、公募再開に向けて、民営化の手法や時期等について、民営化推進委員会からの答申を受け、本市として民営化計画を取りまとめたところである。

今後、本計画に基づき、民営化の実現に向けた取組みを進める中で、職員の身分保障や、市民の皆様への進捗に併せた周知など必要な対応に努めてまいりたい。

(ガス局)

<要望>

行政の責任を果たすため、指定管理者制度の見直しを行うこと。また、現行の指定管理事業の更新に際しては、事業の円滑な運営や働く人の雇い止めなどの弊害が生じないように公募によらない選定等を考慮すること。

<回答>

施設の特性を踏まえ、最も適切な運営主体を選定し、市民サービスの向上と施設運営の効率化に向けて対応してまいりたい。

また、選定にあたっては、サービス提供のノウハウを持つ団体が他にない場合等には公募によらない選定も行っているほか、労働関係法令などの遵守状況や人員配置体制などの確認を行うことに加え、現行事業者の管理運営実績を加点減点項目として反映する仕組みも導入しており、引き続き、適切な選定等がなされるよう努めてまいりたい。

(総務局)

<要望>

会計年度任用職員の導入にあたっては、労働条件の改善に繋がるよう対策を講じること。

<回答>

会計年度任用職員の導入の趣旨は、地方公務員の臨時及び非常勤職員に関する統一的な取扱いを定めることで、適正な任用・勤務条件を確保することであり、期末手当の支給が可能となる等、処遇改善にも資するものと認識している。

会計年度任用職員の勤務条件については、令和2年度からの制度施行に向けて、職員団体等と協議を行ったところであり、その業務内容や責任の度合い等に基づき、法改正の趣旨や国から示されている考え方、現行の臨時及び非常勤職員の勤務条件を踏まえ、適切に設定してまいりたい。

(総務局)

<要望>

外郭団体等で働く職員の労働条件の向上が図られるよう市の責任において、必要な措置を講じること。

<回答>

外郭団体等で働く職員の労働条件は、基本的には当該団体の責任において、職務の内容や職種、経営状況等を考慮し、決定されるものと認識しているが、関係法令等の改正があった場合には、適宜、その内容の周知等を行ってきたところである。引き続き必要に応じて指導・調整を行ってまいりたい。

(総務局)

<要望>

「非核平和都市」の宣言を行うこと。

<回答>

非核三原則が、既に我が国の基本政策として確立していることから、本市として加えて宣言を行う考えはないが、核兵器の廃絶を始めとする国際平和の実現は人類共通の願いであり、核兵器が一日も早く廃絶されることを強く願っている。

(総務局)

<要望>

女川原子力発電所の稼働永久停止、廃炉を東北電力(株)および宮城県に申し入れること。

<回答>

女川原子力発電所の稼働については、原子力規制委員会の審査過程における

評価や、電力事業者側の安全性向上を注視しつつ、市民の安全・安心を第一に、市民生活や経済活動への影響等を踏まえ、総合的に判断していくべきものと考えている。

(危機管理室・まちづくり政策局)

<要望>

石炭等火力発電所の新設・稼働にあたっては、CO2削減への行動計画、住民の生活環境保全および地球温暖化対策の視点に立った対策を講じること。

<回答>

仙台港周辺で石炭火力発電所の建設計画が相次いだ状況を踏まえ、大気や水質などの環境モニタリングの強化・拡充や、石炭火力発電所の立地自粛を促す指導方針の策定など、環境保全対策に取り組んできたところである。

現在は、(仮称)仙台高松発電所建設計画及び(仮称)仙台バイオマス発電事業の2つの木質バイオマス発電事業について、環境アセスメント制度に基づく手続きを通じて、事業者に対し、大気環境の保全や温室効果ガスの削減に最大限に配慮するようその対策を求めているところである。

今後とも、環境モニタリング結果の速やかな公表を行うとともに、環境アセスメント制度の的確な運用や指導方針の運用を通じた石炭火力発電所の立地抑制等により、杜の都の良好な環境の保全に努めてまいりたい。

(環境局)

2020年1月

「2020年度予算に係る会派要望」
に対する回答

(全市に関する要望)

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり</p> <p>(2) 雇用の拡充</p>	<p>“ブラック企業”等が社会問題となっていることから雇用、労働条件等についての相談窓口の拡充を図ること。若年者等への就労支援体制の強化等、勤労者福祉行政の充実を図ること</p>	<p>雇用・労働関係の相談窓口として、労働相談室を設置しているほか、関係各機関を含めた相談窓口の最新情報を掲載したパンフレット等を毎年作成・配布し、円滑な相談窓口利用を促進している。今後とも勤労者福祉行政の充実を図ってまいりたい。【市民局】</p> <p>相談窓口については、(公財)仙台市産業振興事業団が実施している有資格者(キャリアカウンセラー)による労働、雇用等に関する無料個別相談(キャリア・コンサルティング)や、国家戦略特別区域法に基づき国において設置している「仙台市雇用労働相談センター」の活用を周知してまいりたい。また、若年者等の就労支援に関しては、国、県等関係機関と連携し、就業体験や学生と地元企業とのマッチング支援、定着支援等に取り組んでまいりたい。【経済局】</p>	市民局 経済局
2	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり</p> <p>(1) 地域経済の活性化</p>	<p>中小企業・起業家支援を強化し、地域雇用の創出拡大を図ること。また安定した雇用等労働環境の向上に資する施策を講じること</p>	<p>(公財)仙台市産業振興事業団において、中小企業の経営基盤強化に向けた総合的な相談やマーケティング支援、販路開拓支援など、専門家による実践的なビジネスサポートを行ってきたほか、仙台市起業支援センター「アシスタ」において、起業家への支援を行ってきたところである。さらに、平成27年度にアシスタ交流サロンをオープンし、また、平成28年度には専門家の拡充、平成29年度には先輩起業家から助言を受ける事業を開始するなど、起業支援のさらなる充実を図ったところである。</p> <p>引き続き仙台市経済成長戦略2023に基づき中小企業・産業の競争力強化等を図り、安定した雇用の拡充に努めてまいりたい。</p>	経済局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
3	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (1) 地域経済の活性化</p>	<p>中心部の魅力ある商店街づくりに向けた、きめ細かな支援策を講じること</p>	<p>中心部商店街が行う商店街の魅力を高めるための事業や活性化に向けた取り組みに対しては、これまでもハード面・ソフト面での各種支援を行ってきており、エリアマネジメント組織である仙台市中心部商店街活性化協議会に関する支援や商店街が主体となって行うイベントへの助成等を行っている。今後とも、仙台市中心部商店街活性化協議会及び商店街への支援を継続するとともに、魅力ある商店街づくりに向けて、商店街の皆様と連携・協議しながら、それぞれの商店街の実情に応じた効果的な支援に努め、賑わいの持続・発展を図ってまいりたい。</p>	<p>経済局</p>
4	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (1) 地域経済の活性化</p>	<p>地域商店街の周辺環境整備とともに、担い手育成対策及びイベント等の振興策への支援拡充を図ること</p>	<p>安全・安心で快適な買い物空間づくりを進めるため、日々の消費生活を支える環境整備を商業振興の観点から取り組みを行ってきたところであり、今後とも各商店街や関係部局と連携を図りながら取り組んでまいりたい。また、商店街は地域のコミュニティでも大きな役割を担うことが期待されていることから、商店街が中心となって地域内外の人材と連携し、地域全体の活性化を図るための取り組みを支援するなど、新たな活性化策の拡充を図ってまいりたい。</p>	<p>経済局</p>
5	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (2) 雇用の拡充</p>	<p>労働関係法令の遵守に向けて、各企業、事業所への行政指導を徹底すること</p>	<p>労働行政に関する事業所指導監督は、国の所管事項となっているため、本市としては、引き続き関係機関と連携を図りながら、パンフレット等による啓発に取り組んでまいりたい。</p>	<p>市民局</p>
6	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (2) 雇用の拡充</p>	<p>生活と就労の両立支援へ行政指導を強化すること。特に、男性の育児休業の取得促進に取り組むこと</p>	<p>市の責務と権限を踏まえ、引き続き関係機関と十分に連携を図りながら、「男女共同参画せんだいプラン2016」に基づき、男性の育児休業取得促進を含む男性の家事・育児・介護等への主体的な参画に向けた広報・啓発に取り組んでまいりたい。</p>	<p>市民局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
7	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (3) 農林漁業の振興</p>	<p>小規模農家の支援策をはじめ、農業の振興に向けてきめ細かな施策を講じること 東部被災地の再建に向けて更なる支援を行うこと</p>	<p>農業者や関係団体の実情や要望なども踏まえながら、農食ビジネス推進事業や施設園芸推進事業、農林漁業振興資金の利子補給など様々な施策を実施しているところである。 被災地域においては、東部地域農業生産基盤整備事業等の推進により、農業生産の再建に必要な支援の継続に努めてまいりたい。</p>	<p>経済局</p>
8	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (3) 農林漁業の振興</p>	<p>仙台ブランド野菜づくりを育成し、販売戦略などの支援策を講じること</p>	<p>関係機関や民間事業者と連携して、枝豆など農産物の仙台ブランドづくりにつながる取組みを進めてまいりたい。</p>	<p>経済局</p>
9	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (3) 農林漁業の振興</p>	<p>耕作放棄地の解消に向け、集落営農組織などとの連携を図り、対策を講じること</p>	<p>耕作放棄地や不作付地の活用を図るため、集落営農組織などへ大豆やそば等の作付を勧めてまいりたい。</p>	<p>経済局</p>
10	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (3) 農林漁業の振興</p>	<p>イノシシ、サルそしてクマなど有害鳥獣による農作物被害に対しては、市独自の対策を含め強化すること</p>	<p>「仙台市鳥獣被害防止計画」などに基づき、防護と捕獲による被害防止を推進している。防護対策としては、国・県及び市の補助を活用した広域的かつ効果的な防護柵の設置を促進し、捕獲対策としては、平成30年度から設置した「仙台市鳥獣被害対策実施隊」による取り組みや、狩猟免許を有しない方でも捕獲活動に従事できる「地域ぐるみの捕獲対策」の実施地区の拡大を進めている。こうした対策の効果を検証しつつ、さらに実効性の高い対策の実施に努めてまいりたい。</p>	<p>経済局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
11	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (3) 農林漁業の振興	「森林基本計画」の着実な実現を図り、地元木材活用など林産業の振興を図ること。また森林保全、特に公園等を含めた松枯れ・ナラ枯れ対策を講じること	計画的な森林整備を推進するとともに、「みやぎ材利用センター」等と連携を図りながら、平成31年3月に改訂した「仙台市公共建築物等における木材利用の促進に関する方針」に基づき、新たな木質部材の活用も検討しながら、地域産材の使用を促進してまいりたい。 また、公園等を含めたナラ枯れ・松枯れ被害の拡大を防止するため、被害木の伐倒駆除を適切に行うなど、森林保全を図ってまいりたい。	経済局 建設局
12	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (4) 観光振興	観光行政の充実を図ること。特に、ユニバーサルデザインに配慮したサイン整備や多言語表記を図ること。 また、中心部ににおける観光バス等の駐車場確保、市内各所に休憩所の設置等の具体策を推進すること	サイン整備については「仙台市歩行者系案内誘導サイン等基本方針」に基づき、道路や公園などの関係部署と調整を図りながら、多言語表記も含めた整備に努めているところである。 中心部における観光バス等の駐車場確保については、観光バスの駐車が可能ないせんだい青葉山交流広場・駐車場の活用や臨時駐車場を含め、今後とも関係部署と連携し、観光客の利便性の向上に努めてまいりたい。	文化観光局
13	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (4) 観光振興	作並地区を含め西部地区の観光振興策推進を図ること	温泉旅館組合をはじめとする地域団体や地域の観光事業者等と連携し、豊かな自然環境を活用した体験型観光の取組支援や温泉などの地域資源の魅力発信、受入環境整備に取り組んでいるところであり、今後とも効果的な観光振興を図ってまいりたい。	文化観光局
14	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (5) 文化・スポーツの振興	自衛隊霞目基地の移転促進を図り、跡地をスポーツ公園として整備活用すること	移転の実現性が高まった場合に、財政状況や必要な施設機能等を十分検討し、スポーツ施設としての活用の可能性を考えてまいりたい。	文化観光局 建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
15	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (5) 文化・スポーツの振興</p>	<p>文化芸術活動の振興を図るため、財政支援を行うこと。 子どもたちの文化芸術体験の充実に努めること。 また、文化芸術を支える人材の育成を図るための施策を講ずること</p>	<p>市内の小中学生を対象としたオーケストラ鑑賞会を実施しているほか、アーティストを小中学校等に派遣して音楽や演劇を体験する機会を提供する事業に取り組むなど、子どもたちの文化芸術体験の充実に努めている。また、仙台市市民文化事業団による市民文化活動への助成事業や市民参加型の創作事業も行っており、今後こうした取組みに努めてまいりたい。</p>	文化観光局
16	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (5) 文化・スポーツの振興</p>	<p>音楽ホールについては、着実な整備促進を図ること</p>	<p>平成31年3月に取りまとめられた「仙台市音楽ホール検討懇話会報告書」を踏まえ、施設の機能や規模、立地などについて判断し、音楽ホール整備基本構想策定に向けて検討を進めてまいりたい。</p>	文化観光局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
17	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (5) 文化・スポーツの振興</p>	<p>地域コミュニティスポーツの推進を図り、全国大会等を開催できる基準を満たした公式パークゴルフ等の整備に着手すること。 スポーツ施設の整備拡充および老朽化対策を図ること</p>	<p>地域スポーツ団体の育成など地域コミュニティスポーツの推進に努めるとともに、パークゴルフ場整備については、海岸公園パークゴルフ場において現在の23ホールから27ホール化に向けて着手しており、公認コースの認定に関しても進めてまいりたい。 スポーツ施設の整備拡充に関しては、地域のニーズを十分把握しながらその整備手法等の検討を行うとともに、施設の計画的な修繕等による老朽化対策を進めてまいりたい。</p>	<p>文化観光局 建設局</p>
18	<p>1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (5) 文化・スポーツの振興</p>	<p>宮城刑務所の移転促進を図り、跡地を史跡公園として整備活用すること</p>	<p>宮城刑務所の移転については、一義的には国において判断されるべきものと認識している。若林城跡の整備活用については、引き続き発掘調査を継続し、城郭としての価値や全体像の解明に努めながら、遺跡の保存と活用について関係機関と協議を行ってまいりたい。</p>	<p>教育局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
19	2. まちと地域を支える人づくり (6) 生きがいづくり・生涯教育の 振興	青少年の健全育成や非行防止の取り組み を強化すること。また、薬物汚染等の対策を 図ること	薬物乱用防止については、様々な年代が参加するイベント 等を通じて関係機関と連携しながら啓発に努めてまいりたい。 【健康福祉局】 街頭指導活動、相談活動、ふれあい広場・就労支援活動、 啓発活動等を通じて青少年の抱える悩みや問題に関する相 談に応じるとともに、社会を明るくする運動等へ参加しながら、 今後も引き続き、非行防止と健全育成を進めてまいりたい。 【子供未来局】	健康福祉局 子供未来局
20	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (6) 生きがいづくり・生涯教育の 振興	公園空白区の解消を図り、市民に愛される 公園づくりを進めること。	公園空白地の解消に向けては、公園の機能や立地、また地 域の人口構成の変化等を踏まえ、地域の要望も伺いながら、 公園の適正な配置、地域のニーズに沿った公園づくりを進め てまいりたい。	建設局
21	1. 人が集い、成長し続けるまちづくり (6) 生きがいづくり・生涯教育の 振興	八木山動物公園の一層の魅力アップを図 ること	新規動物の導入や繁殖に加え、人と動物が触れ合える体験 型施設「ふれあい館」の供用開始やフリーライト等の新たな イベントを実施するなど、魅力アップに努めてきたところであ り、今後も各種展示やイベント等を工夫するなど、より魅力的 な動物園づくりを目指してまいりたい。	建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
22	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	全学年の30人以下学級を図ること。当面小学校の全学年への35人以下学級の拡大を図ること	35人以下学級については、令和元年度に中学校全学年で実施したところであり、現在中学校における検証を進めているところである。 小学校への拡充については、人件費のほか、施設面で慎重に判断すべき課題もあることから、引き続き検討を進めながら、国の考え方に沿った加配教員を確実に確保するよう努めるとともに、国に対して定数改善の要望を継続してまいりたい。	教育局
23	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	各学校の特別教室・調理室等に対し、早期にエアコンを設置すること	市立学校の普通教室等へのエアコン設置については、全ての学校に早期に設置するため、現在工事発注等の手続きを進めているところである。特別教室へのエアコン設置については、今後の課題として検討してまいりたい。 また、調理室のエアコン設置については、調理室全体の改修が必要となるため、学校の大規模改修と合わせるなど、適切な時期に実施できるよう検討してまいりたい。	教育局
24	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	児童生徒の増加に対応して、計画的に分離・新設を行うこと。プレハブ教室については速やかに解消を図ること	児童生徒数の今後の推移に応じて学校の新增改築を計画的に行い、プレハブ教室の解消等、教育環境の充実に努めてまいりたい。	教育局
25	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	トイレ、更衣室、相談室などの学校施設の整備・改善を図ること。	トイレの洋式化については、改修等による整備・改善に取り組んでいるところである。更衣室、相談室などの整備については、今後の学校施設整備の中で検討してまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
26	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	児童生徒の健康維持および指定避難所の環境改善の観点からコンクリート床となっている体育館の改築を早急に進めること	コンクリート床に関して児童生徒への身体的影響についての報告はないが、指定避難所としての使用も念頭に置きながら、体育館の改築に併せて木床に切り替えることで環境改善を図ってまいりたい。	教育局
27	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	老朽化が進む学校プールの改修時期が集中することから、年次計画を策定し改修を進めること	各学校の状況を踏まえ、優先度を見極めながら、計画的な改修等の対応について検討してまいりたい。	教育局
28	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	老朽化した市立高校等の改築を早急に行うこと	それぞれの高校の老朽度等も勘案し、優先度を見極めながら、長寿命化や建替えについて計画的に進めてまいりたい。	教育局
29	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	各学校の教育環境を良好に維持するため、技師2名体制を堅持するとともに、1名は正職員を配置すること。その為、専任の職員採用を行うこと	学校用務員については、正職員1名、短時間勤務職員1名の2名配置を原則としている。技能職員の採用停止に伴い、正職員の配置ができない学校も生じているが、学校の規模や状況を踏まえ、適正な人員配置に努めてまいりたい。	教育局
30	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	中・高校等のスポーツ、文化活動における上級大会派遣費用の補助内容の充実を図ること	小・中学校等の体育・文化活動の上位大会（東北・全国大会）の派遣補助については、今後も事業の適切な運用を図ってまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
31	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	私学助成の拡充を図ること	私学助成は、所轄庁である宮城県知事が行っているところであるが、本市においても私学の担っている役割等を考慮しながら、引き続き助成を行ってまいりたい。	教育局
32	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	在日外国籍の子どもたちの学校教育を受けられる機会について、調査を進めるとともに対策を講じること	関係機関と連携し、学校教育等に関する情報提供を行い、在日外国籍の子どもたちが学校教育を受ける機会を得られるよう周知に努めてまいりたい。	教育局
33	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	宮城朝鮮学園に対し、助成を再開すること	私立外国人学校振興補助金の制度創設当時と比較して、児童生徒数が大幅に減少しており、補助の実効性が確保できないことから、制度は既に役割を終えたものと認識している。	教育局
34	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	特別支援学校については市内への更なる増設を県に求めること。また特別支援教育の充実を図ること	本市としては、特別支援学校の設置も含めた就学者増加への早急な対応を県へ求めてきており、知事が仙台市太白区秋保地区への新設方針を表明し、現在準備が進められているところである。また、宮城県立小松島支援学校松陵校については施設貸与という形で、県に協力しているところである。これからも就学者数の推移を注視しながら、必要に応じて県に対し効果的な対応を要望してまいりたい。特別支援教育の充実については、平成30年度より実施している「仙台市特別支援教育推進プラン2018」に基づき、さらなる取組みを進めてまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
35	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	多様な学びの機会を保障するとともに、いじめ、不登校対策を講じること	学習面でのつまずきを解消し、登校意欲を高めることができるように、小学校中学年算数におけるチーム・ティーチング等の授業サポートを行い、指導の連続性と児童のつまずきを把握した上での放課後等の補充学習などにより、一人一人の個性や能力に応じたきめ細かな指導を充実させ、基礎的な知識・技能の確実な習得を図ってまいりたい。 また、児童生徒の自己肯定感を高め、人との関わりや将来への見通しを持たせるために、「たくましく生きる力育成プログラム」の実践など、仙台自分づくり教育のより一層の充実に努めてまいりたい。 さらに、いじめや不登校を生まないためにも、児童生徒が多様な学びの機会を活用し、将来に向けて目標を持つことができるように、学校、家庭、地域の連携による支援を推進することと、豊かな人間性をはぐくんできてまいりたい。	教育局
36	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	老朽化した「児遊の杜」および「杜のひろば」の施設改善を図ること	適応指導センター「児遊の杜」及び7カ所の「杜のひろば」において、学校併設、学校以外の施設での運営等、それぞれの特色を生かしながら、適応指導に努めている。今後とも子どもの状況に応じた適応指導の一層の充実に努めるよう施設の改善について検討を進めてまいりたい。	教育局
37	2. まちと地域を支える人づくり (1) 学校教育の充実	学校納付金に関わって保護者の負担軽減を図ること	経済的に困窮する世帯に対しては、就学援助制度により学用品費等を支給しており、今後とも適切に制度を運用してまいりたい。なお、各学校に対しては、補助教材の購入に関して保護者の負担が過重なものとならないよう、今後とも注意喚起を行ってまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
38	2. まちと地域を支える人づくり (2) 学都仙台の魅力づくり	学都仙台の魅力づくりコンソーシアム事業については、市民との協働を意識した取り組みを支援すること	本市は、学都仙台コンソーシアムの一員として、コンソーシアムの活動を支援しており、引き続き、コンソーシアムの事業が市民の間に浸透されるよう努めてまいります。併せて、地域活動に大学・学生が協働して取り組んでいけるよう働きかけてまいります。	まちづくり政策局
39	2. まちと地域を支える人づくり (2) 学都仙台の魅力づくり	留学生の受け入れ拡大・支援の取り組みを図り、連携を強めること	東北大学を始め、留学生の受入拡大を目指す市内の大学や日本語学校との連携による生活ルール等の周知や、日本語学習機会の提供など留学生に対する支援を行い、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進している。今後も、地元大学等との連携による取り組みを進めてまいります。	文化観光局
40	2. まちと地域を支える人づくり (3) 高齢者福祉	介護ニーズに充分応えられるよう人材や施設等、供給体制の充実を図ること。また、介護士の処遇改善を図ること	介護サービスを必要とされる方が、その身体状況や希望等に応じた、必要なときに必要なサービスを選択でき、安心して自立した生活を送ることができるよう、介護サービスの質及び量の確保に引き続き努めてまいります。また、事業者が質の高い人材を安定的に確保できる、適切な水準の介護報酬の設定を含めた、介護職員の処遇改善等について国に求めてまいります。	健康福祉局
41	2. まちと地域を支える人づくり (3) 高齢者福祉	介護保険料等負担増に対応するため、独自の低所得者対策を拡充すること	介護保険制度改正により、平成27年4月から公費による保険料軽減措置が実施され、令和元年度は、消費税率10%への引き上げに伴い、低所得者の保険料軽減をさらに強化した。本市としても、国の動向を注視しながら適切に対応してまいります。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
42	2. まちと地域を支える人づくり (3) 高齢者福祉	地域包括支援センター事業の円滑な運営が行われるよう対策を図ること。地域包括ケアシステムへの対応含め財政措置など支援を強化すること	これまで、委託料の増額や地域包括支援センターの増設、契約の複数年化など、安定的な運営を図るための措置を講じてきたところである。 また、地域包括ケアシステムの構築に向けて、その中核的な役割を果たす地域包括支援センターの機能強化を図ることを目的に、地域のネットワークづくり等を担う職員を増員したことに加え、センターを支援する区役所にも専門職を増員してきたところである。 地域包括支援センターの支援体制については、引き続きそのあり方等について検討してまいりたい。	健康福祉局
43	2. まちと地域を支える人づくり (3) 高齢者福祉	高齢者権利擁護事業を充実させること。特に、成年後見制度の周知徹底を図り、高齢者をねらう悪質な商法などへの対策を講じること	成年後見制度については、必要な方が適切に制度を利用できるように、関係機関との連携による周知啓発や相談支援の充実に努めてまいりたい。 また、悪質商法などへの対策についても、引き続き区役所や地域包括支援センター等による注意喚起に努めるとともに、消費生活センターなど関係部局とも連携を図りながら取り組んでまいりたい。	健康福祉局
44	2. まちと地域を支える人づくり (4) 障害者福祉	障害者就労支援センターの機能充実や、障がい者雇用の一層の促進を図ること	障害者就労支援センターにおいて平成30年度より専任のジョブコーチを増員し、障害者雇用のマッチングや職場開拓、就労定着の取組みを強化するなど、関係機関との連携を図りながら、支援内容の充実に取り組んでおり、引き続き障害者雇用を推進してまいりたい。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
45	2. まちと地域を支える人づくり (4) 障害者福祉	放課後デイサービス事業の拡充を図ること	放課後等デイサービス事業については、リーフレットやホームページを活用して事業の周知や参入を促してきたところであり、事業所数は年々増加してきている。引き続き、参入に向けた周知啓発、研修等の機会を活用して複数事業所設置への働きかけを進めるとともに、事業所の質を担保できるよう、新規開設相談時に適切かつ丁寧な運営に必要な情報となる情報を提供する一方で、事業所の拡充を図ってまいりたい。	健康福祉局
46	2. まちと地域を支える人づくり (4) 障害者福祉	障がい者のグループホームについて、入居のニーズに応じた整備および支援策を拡充すること	グループホームについては、新規開設時における消防設備整備費等に関する補助を行うとともに、グループホーム事業者等で構成される「仙台市グループホーム連絡会」と連携して、グループホーム運営事業者に対する相談支援体制の充実のための研修を通して重度・高齢化している入居者に応じたグループホームの整備促進を図ってまいりたい。	健康福祉局
47	2. まちと地域を支える人づくり (4) 障害者福祉	障がい者施設の製品等の開発及び販路拡大支援と積極的な購入を図ること。	製品の開発や販路拡大に関しては、障害福祉事業所向けの研修会等を通し専門家によるアドバイスを行っており、引き続き支援をしてまいりたい。 また、物品の調達方針に基づき優先調達の拡大について、引き続き庁内に広く働きかけるとともに、障害者施設との橋渡しも行うことにより積極的な購入につなげてまいりたい。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
48	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない支援策を推進すること	各区・総合支所に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から出産・子育て期までの支援を行ってきたところであるが、更なる子育て支援を充実させてまいりたい。	子供未来局
49	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	公的責任による保育行政を推進し、保育所待機児童の解消策にむけ、認可保育所の増設を図ること	子ども・子育て支援新制度の趣旨を踏まえ、認可保育所の整備に加え、認定こども園や小規模保育事業など様々な保育基盤整備を行うことにより、待機児童解消に向けた取り組みを着実に推進してまいりたい。	子供未来局
50	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	老朽化した公立保育所の建替えにあたっては、公設公営で行うこと	公立保育所の建替えにあたっては、「公立保育所の建替え等に関するガイドライン」に基づき、「民設民営方式」を基本として進めてまいりたい。	子供未来局
51	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	公立保育所において、新年度時点で保育士の欠員が続いた実態を踏まえ、正規職員の採用を増やすなど、配置基準に見合う対策を講ずること	正規職員について、任期付正規職員を含めてその採用を進めているところであり、会計年度任用職員の配置等も組み合わせながら、人員の確保に努めてまいりたい。	子供未来局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
52	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	保育に関わる職員の処遇改善に向けた行政指導など、必要な措置を講じること	処遇改善の促進を図るため、施設からの個別の相談に応じながら、処遇改善等加算制度の運用に関する助言等を行っているところである。 今後も丁寧で分かりやすい説明を行いながら、処遇改善の積極的な活用及び適切な運用に向けて施設への働きかけに努めてまいりたい。	子供未来局
53	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	児童虐待の根絶に向けた対策を講じ、実効ある体制を図ること。また、児童相談所への専門家の配置・育成など、人員体制の強化を図ること	児童虐待防止については、要保護児童対策地域協議会による関係機関との情報共有、乳幼児健診未受診者に対する訪問調査の実施等に加え、市立病院を拠点とした児童虐待に係る医療ネットワーク事業を実施し、虐待の早期発見と対応に努めているところである。今後、区役所等における支援体制の強化を図るとともに、引き続き関係機関と緊密な連携を図りながら取り組んでまいりたい。 児童相談所においては、今後も職員の資質向上に努め、児童福祉法の規定をふまえて、実情に応じた体制を確保してまいりたい。	子供未来局
54	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	新たな児童相談所を整備し、機能強化を図るとともに、現在の児童相談所および一時保護所の施設の拡充を図ること	児童相談所および一時保護所の施設については、現庁舎建設から27年を経過していることから、長寿命化に向けた大規模修繕を前提に検討しつつ、当面は、現有の庁舎設備を有効に活用することで、児童福祉法の規定をふまえた、より効果的な相談指導及び一時保護の実施に努めてまいりたい。	子供未来局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
55	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	公的責任において里親制度を推進すること	里親制度については、平成28年の児童福祉法改正により子どもが家庭的養育環境において健やかに養育されるよう、家庭における養育が困難又は適当でない児童について、里親等への委託を推進するよう示されている。本市においては令和2年度から始まる「仙台市社会的養育推進計画」を現在策定作業中であり、今後この計画に基づき、より一層関係機関・団体とも連携し、里親支援の充実に努めてまいりたい。	子供未来局
56	2. まちと地域を支える人づくり (4) 子育て支援と労働	児童館の整備にあたっては、未整備学区の早期解消を図るとともに、小学校隣接地に整備することを基本とすること。児童クラブの対象児拡大に伴う施設整備を進めるとともに、要支援児対策を拡充すること	児童館の整備については、小学校への合築や余裕教室の活用、学校敷地内や近隣の公共用地等への整備を基本に、計画的な整備に努めてまいりたい。 また、児童クラブの対象児拡大に対しては、小学校の余裕教室の活用や民間物件の賃借、また、民間児童クラブの支援の充実などにより対応してきたところであり、今後も多様な手法を組み合わせることで、必要な実施場所の確保に努めてまいりたい。 さらに、要支援児への対応については、引き続き、関係専門機関等との連携を図りながら、職員の追加配置や学識経験者による児童館の巡回指導に努めるとともに、児童館特別支援コーディネーターの養成や児童館職員向け研修の充実を図ることにより、職員の資質向上に努めてまいりたい。	子供未来局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
57	2. まちと地域を支える人づくり (5) 子育て支援と労働	子どもの貧困の実態に基づき、家庭(特にひとり親家庭)や子どもに対する支援策を講ずること	子どもの貧困対策については、平成30年度から5年間の「つなぐ・つながる 仙台子ども応援プランー仙台市子どもの貧困対策計画ー」を策定している。ひとり親家庭への支援策については、令和2年度から5年間の第4期「仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン(仙台市ひとり親家庭等自立促進計画)」の策定に向けて作業を進めているところである。今後これらの計画に沿った支援策を推進し、ひとり親家庭を含む子どもへの貧困対策の充実に引き続き努めてまいりたい。	子供未来局
58	2. まちと地域を支える人づくり (6) 保健・医療の充実	健康寿命の延伸等、市民福祉に資する、介護予防普及啓発事業のさらなる推進を図ること	介護予防普及啓発事業については、毎年11月を介護予防月間とし、関係機関、地域団体との連携のもと普及啓発イベントを全市展開している他、市内52か所の地域包括支援センターで介護予防に資する健康教育や、認知症をテーマにした講話等を実施しているところである。今後も、健康寿命の延伸や生活の質の維持・向上に向けて、介護予防の普及啓発に努めてまいりたい。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
59	2. まちと地域を支える人づくり (6) 保健・医療の充実	心のケア対策やひきこもり対策を進めるために、人的体制の強化を図ること。また、「相談支援事業所」の体制整備を図ること	心のケア対策については、相談件数の推移や相談内容などを踏まえて必要となる相談員を各区に配置するとともに、関係機関との連携も図りつつ、継続した相談支援を推進できるよう努めてまいりたい。また、ひきこもり対策については、大学教授、精神科医などの外部有識者からなる会議体において、支援体制の評価検討を行っていることから、この結果を踏まえて、さらなる相談体制の強化に取り組んでまいりたい。相談支援事業所については、各区の障害者自立支援協議会における関係者同士のネットワーク構築の強化に取り組むとともに、計画相談支援を担う指定特定相談支援事業者の拡充を図るため、実務研修会の開催や未設置法人に対し個別に働きかけを行っているところである。	健康福祉局
60	2. まちと地域を支える人づくり (6) 保健・医療の充実	衛生研究所については建替えを含め、「(仮称)衛生環境研究所」と改めること また、新たな環境諸問題にも対応できるような組織と施設にすること	衛生研究所では、現在、アスベスト検査、大気環境検査、水質検査等の環境に関する検査を行っているが、今後とも、環境対策課等との連携のもと、環境諸問題について民間の登録検査機関との役割分担を踏まえながら、老朽化した施設の建替えを含め適切に対応してまいりたい。	健康福祉局
61	2. まちと地域を支える人づくり (6) 保健・医療の充実	市立病院における常勤的医療スタッフの確保・充実を図ること	これまでも常勤医の確保・増員を図るなど、充実に取り組んできたところである。今後とも救命救急医療などの政策的医療や高度で専門的な医療提供体制の拡充のため、必要な医師や医療スタッフの確保に努めてまいりたい。	市立病院

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
62	2. まちと地域を支える人づくり (7) 市民協働のまちづくり	職員および関連職場等における採用について、数値目標を掲げた女性の登用拡大を図ること。特に管理職への登用や審議会委員の拡大については公募も含め努めると	<p>「男女共同参画せんだいプラン2016」や「女性職員活躍推進プランー女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画一」において、目標として掲げている女性職員の係長職昇任試験受験率及び女性管理職の割合を達成できるよう、取組みを継続し、本市が率先して女性の登用拡大に努めてまいります。</p> <p>また、職員配置に当たっては、性別に捉われず、適材適所を基本に女性職員の職域拡大に努めてまいります。【総務局】</p> <p>「男女共同参画せんだいプラン2016」において、審議会等における女性委員の割合を令和2年度末までに40%以上とする成果目標を掲げており、引き続き委員改選時の事前協議の徹底や公募の拡大に取り組みでまいります。【市民局】</p> <p>今後とも女性教職員の管理職への登用に努めてまいります。【教育局】</p>	総務局 市民局 教育局
63	2. まちと地域を支える人づくり (7) 市民協働のまちづくり	性別役割分担意識解消と女性の社会参画を一層進めるため、政策等の立案や決定の場への女性の参画を推進するための啓発と支援の拡充を行うこと	<p>「男女共同参画せんだいプラン2016」に基づき、政策・方針決定過程への女性の参画に向けて、引き続き本市審議会等における女性委員の登用率向上や、企業・地域団体等における方針立案・決定の場への女性の参画促進に向けたセミナー等の啓発事業、人材育成支援などに取り組んでまいります。</p>	市民局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
64	2. まちと地域を支える人づくり (7) 市民協働のまちづくり	DV根絶・性暴力対策を強化すること。特に性暴力被害者のためのワンストップ支援センターを設置すること。若年層への防止教育、加害者更生教育を徹底すること	「男女共同参画せんだいプラン2016」及び「仙台DV防止基本計画（平成28年度～令和2年度）」に基づき、若年層を含む市民への啓発や相談窓口の周知拡大など、DV・性暴力への対策に継続して取り組むとともに、宮城県と情報交換を行いながら、性暴力被害者支援の充実を図ってまいりたい。加害者更生プログラムについては、そのあり方に係る国の検討状況等の情報収集に努めてまいりたい。	市民局
65	2. まちと地域を支える人づくり (7) 市民協働のまちづくり	人権および多様性の観点から、性的少数者の差別解消にむけて、研修や理解教育の充実、相談窓口の設置などの環境整備を行うこと。パートナーシップ宣誓制度等を整備すること	多様な性のあり方を理由とした社会的偏見や差別をなくすため、市民の理解促進に向けた啓発等に取り組みほか、パートナーシップ宣誓制度を含め、当事者への支援のあり方の検討を進めてまいりたい。	市民局
66	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (1) 安全・安心のまちづくり	放射性物質、ダイオキシンの測定やアスベスト等の大気汚染測定調査を進め、市民にわかりやすい情報の開示と対策を図ること	空間放射線量の測定や放射性物質の検査については、これまで各種の測定を実施し、適宜強化を図りながら、これらの結果を公表してきたところであるが、今後もきめ細かな対応に努めてまいりたい。【危機管理室・環境局・教育局】 ダイオキシン類やアスベストに関しては、関係法令に基づき、大気汚染状況等の調査を実施し、その内容を本市ホームページで公表するほか、事業者等に対して必要な指導を行うなど、引き続き適切な対応に努めてまいりたい。【環境局】	危機管理室 環境局 教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
67	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (1) 安全・安心のまちづくり</p>	<p>ブロック塀などの危険な擁壁等対策を早急に進めること。また、生垣づくり助成制度の拡充を図ること</p>	<p>危険なブロック塀については、大阪北部地震によるブロック塀倒壊事故を踏まえた国の通知に基づき、道路に面した箇所等重点的な取り組みに加え、市有施設の点検や各区における定期巡回・指導を強化し、危険なブロック塀等の除却に向けて取り組んできた。今後とも、除却助成事業の活用による除却がより促進されるよう、引き続き周知・啓発等を図ってまいりたい。また、現状を把握するため、令和元年度より数カ年かけて、公道及び指定通学路等に面するブロック塀等の実態調査を実施してまいりたい。</p> <p>危険な擁壁等については、パトロールあるいは市民からの相談等に応じ、所有者等への改善指導を行っており、今後とも安全・安心な街づくりに努めてまいりたい。【都市整備局】</p> <p>生垣づくり助成制度については、これまで、市街化区域の民有地を対象として助成事業を実施してきたところであるが、東日本大震災により甚大な被害を受けた津波浸水区域等を助成対象に加えるなどの、時限的な特例措置（令和4年3月31日まで）を設けている。【建設局】</p> <p>市立学校で対策が必要な箇所について、撤去または改修を行い、適切に管理してまいりたい。【教育局】</p>	<p>都市整備局 建設局 教育局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
68	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (1) 安全・安心のまちづくり</p>	<p>放射能汚染対策を含めた食の安全を確保すること。また、残留農薬、無登録農薬、輸入農水産物、遺伝子組み換え食品等の管理、検査体制の強化と情報の開示を図ること。</p>	<p>放射性物質については、原子力災害対策本部が定めた方針及び本市食品の安全性確保に関する基本方針に基づき、中央卸売市場やその他の流通食品の検査を計画的に実施し、結果を公表している。 また、残留農薬等の検査については、国や他の自治体を実施している検査状況を踏まえて、検査項目を増やすなど、検査体制の充実を図っている。 遺伝子組み換え食品については、令和5年度に新たな表示制度が施行されることから、事業者における表示切替の準備が円滑に行われるよう、制度内容の周知を図ることとしている。 今後とも、食の安全に関する情報の提供に努めるとともに、食品の安全性確保に向けた施策を総合的かつ計画的に推進してまいりたい。</p>	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
69	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (1) 安全・安心のまちづくり</p>	<p>「仙台市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、空き家・空き地について防災・衛生面などの観点から対策、指導を強化すること。また、空き家の利活用について本格的な検討を進めること</p>	<p>空き家対策については、空家等対策計画に基づき、管理不全な空き家とならないようにするための注意喚起や啓発等の充実を図っていくとともに、管理不全な状態のものについては、法に基づく助言や指導等により強い働きかけを行うなど、早期の改善に向けた取り組みを進めてまいります。【市民局】</p> <p>宅地の空き地については、清潔な生活環境の保持を目的とする「仙台市空き地における雑草の除去に関する条例」に基づき、状況把握および雑草除去について指導を行っている。今後とも、衛生確保の観点から適正管理の指導に取り組んでまいります。【健康福祉局】</p> <p>空き家の利活用については、不動産等の関係団体と締結した協定に基づき、住宅活用相談への対応や、住宅所有者等への啓発及び情報提供等について連携を図り、空き家の利活用の促進に取り組んでまいります。【都市整備局】</p> <p>空き家・空き地については、「仙台市火災予防条例」に基づき、関係部局等と連携して実態把握に努めながら、燃焼のおそれのある枯れ草の除去など必要な指導を行っており、今後とも火災予防の観点から適正管理の指導に取り組んでまいります。【消防局】</p>	<p>市民局 健康福祉局 都市整備局 消防局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
70	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (1) 安全・安心のまちづくり</p>	<p>豪雨・土砂災害対策について、国・県との連携を強め、抜本的な対策を講じること。また、下水(汚水)への雨水流入対策を進めること。特に市中心部の対策を急ぐこと</p>	<p>豪雨・土砂災害については、令和元年10月の台風や大雨の被害を踏まえ、国・県・市がそれぞれの役割のもと連携を強化し、ハード・ソフト両面から総合的な対策を講じてまいりたい。 浸水被害については、国庫補助金の確保等、国・県との連携を図りながら、引き続き対策に努めてまいりたい。 污水管への雨水流入については、誤接続の改善指導及び流量調査を継続して実施するほか、流量調査に基づき、流入水量の多い地区を確認のうえ対策工事に取組む等の防止策を進めているところである。</p>	建設局
71	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (2) 地域コミュニティづくり</p>	<p>地域コミュニティ等への支援策を講じるとともに、世代間交流が図られるシステムづくりを進めること</p>	<p>少子高齢化等が進むなか、地域コミュニティの活性化に向けて世代間交流の重要性が増していること認識している。 そこで、令和元年度から全市的に開催している町内会役員担い手講座においても若い方を取り込む手法の紹介等を行ったところであるが、引き続き、若者も含め幅広い世代の多くの方々が地域づくりに取り組みめるよう環境を整えてまいりたい。</p>	市民局
72	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (2) 地域コミュニティづくり</p>	<p>市民センターおよびコミュニティセンターの未設置地区を早期に解消すること。 また、老朽対策を含めた施設拡充、エアコン設置など快適な施設への改築を計画的に進めること</p>	<p>中学校区に市民センター、小学校区にコミュニティ・センターを重複配置としないよう整備することとしており、未設置地区については、この考え方に基づいて対応してまいりたい。 また、施設の改修等については、公共施設総合マネジメントプランの考え方により計画的に進めていくとともに、エアコン設置については、個別の地区館の置かれていく状況に踏まえ検討してまいりたい</p>	市民局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
73	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (2) 地域コミュニティづくり	地区集会所建設助成については上限額の引き上げを含め、制度を見直すこと。 太陽光発電装置等の設置補助を新設すること	地区集会所は、地域コミュニティを維持・形成する拠点として機能していると認識しており、一定の予算を確保し、緊急性や必要性を考慮しながら、効果的な執行に努めているが、引き続き適切な補助制度のあり方についても検討してまいりたい。【市民局】 太陽光発電については普及が進んでいるところであり、より温室効果ガス削減効果の高い、住宅における熱エネルギーの有効活用に重点を置いた補助を行ってまいりたい。【環境局】	市民局 環境局
74	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (2) 地域コミュニティづくり	動物管理対策およびペット対策を強化すること。	平成17年度に策定した「動物愛護行政の基本指針」等に基づき、飼い主のマナー向上のため区民まつり等のイベントを活用した啓発、「犬のしつけ教室」の開催、町内会でのマナーアップ運動やセミナーを実施している。さらに、令和2年4月に施行の「仙台市人と猫との共生に関する条例」に基づいた猫の適正飼養の普及啓発など、今後とも取り組みの推進を図ってまいりたい。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
75	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (3) 平和都市づくり</p>	<p>仙台空襲など戦争の悲惨さや犠牲を後世に引き継ぐため、平和教育を推進すること。戦災復興記念館の機能強化を図ること。更に、原爆の悲惨さを学習する場として「(仮称)ヒロシマにまなぶ子どもの平和友好の旅」などの事業を行うこと</p>	<p>小学校等の校外学習や体験学習における戦災復興記念館の資料展示室の積極的な活用を働きかけてまいりたい。また、平成31年4月に展示室の展示替えを行ったところであり、毎年7月10日(仙台空襲の日)を中心に開催している戦災復興展についても内容の充実を図ってまいりたい。【青葉区】</p> <p>中学校においては、第3学年の社会科の歴史の学習で、仙台空襲や広島、長崎への原爆投下について、教科書等で学習している。また、公民の学習では、世界平和の実現のために、核廃絶への取組みについても学習している。小学校においても、第6学年の社会科の歴史の学習で、仙台空襲も含めて、戦争の惨禍について学習している。要望の事業については、経費面等の旅行に係る諸課題が多いところである。【教育局】</p>	青葉区 教育局
76	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備</p>	<p>東部地域の物流能力アップと災害時のルート確保を図るため、太白区四郎丸地区と若林区六郷地区間に新橋梁を建設すること</p>	<p>これからの人口減少や少子高齢化を見据え、都市計画道路の見直しを行ったところであり、東部地域の南北をつなぐ幹線道路は、国道四号バイパス、仙台東部道路、塩釜亘理線により将来の交通処理にも対応できるものと考えている。</p>	都市整備局
77	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備</p>	<p>バス専用レーン機能の確保をはじめ、公共交通機関の走行環境を改善し、公共交通機関利用への誘導を強化すること</p>	<p>路線バスの円滑な運行は公共交通の利用促進につながる。ことから、バス専用レーン機能の確保などについては、交通規制を行っている宮城県警察などの関係機関に働きかけてまいりたい。</p>	都市整備局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
78	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備</p>	<p>市内中心部における荷さばきスペースの確保及び拡充を図ること</p>	<p>市中心部における荷さばきのための駐車施設については、建築物における駐車施設の附置及び管理に関する条例等に基つき、一定の要件に該当する建築物に対して設置を求め、一定の要件に該当する建築物の適切な運用を行い駐車施設の確保を図ってまいりたい。 また、路上における荷さばきについては、引き続き実態把握に努め、円滑な道路交通の確保などの観点から、必要に応じて路上荷さばきスペースの確保等について関係機関と協議してまいりたい。</p>	<p>都市整備局</p>
79	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備</p>	<p>仙台駅周辺のバスプールの整備を進め、路線バスおよび都市間バスの発着を円滑に行えるようにすること</p>	<p>仙台駅周辺の交通結節機能強化に向けて、関係機関や交通事業者の協力を得ながら、バス乗降場の集約化などの駅前広場再整備を実施してきた。引き続き、西口駅前広場における交通島やエレベーター等の整備を進めているところである。</p>	<p>都市整備局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
80	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4)都市インフラの整備</p>	<p>移動する権利を保障する視点に立って、公共交通の軸としてのバス路線を維持すること。</p>	<p>路線バスについては、住民・利用者、バス事業者、行政の協働により維持に努めるが、バス事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、今後、バス事業者では担えない地域が生じることも想定される。そのため、市民の皆様や有識者などの意見を伺いながら庁内関係部局と連携し、バス路線の維持など、公共交通のあり方について検討してまいりたい。</p>	<p>都市整備局</p>
81	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4)都市インフラの整備</p>	<p>持続可能な地域交通について、市民協働の視点に立って進めるとともに支援策を拡充すること</p>	<p>持続可能な地域交通の確保については、地域の主体的な検討や積極的な利用が重要であると考えているため、今後も、市民協働を進めてまいりたい。 現在実施している試験運行等の状況や他都市の事例を参考にし、地域に合った目標収支率のあり方など、持続可能な地域交通を支援する制度となるよう検討したい。また、地域の主体性を前提とした本格運行の補助についても検討を進めてまいりたい。</p>	<p>都市整備局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
82	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	誰もが安心して歩ける道路の整備を図ること。また、幅4メートル未満の市道の拡幅整備が進むよう取組みを図ること	道路特定事業計画に基づいて歩道等のバリアフリー化を進めるとともに、生活道路や通学路においては、地域や関係機関と連携しながら、歩道の拡幅、路肩のカラー舗装などにより、歩行者の安全性向上に取り組みんでいるところであり、引き続き、誰もが安心して歩ける道路整備に努めていく。また、幅4メートル未満の市道の拡幅については、土地所有者から幅4メートルまでの用地の寄付が前提となるため、整備まで一定程度の時間を要するものと考えている。	建設局
83	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	除雪融雪対策について、抜本的な見直しを図り、生活環境に沿った、より効率的・効果的な対策を講じること。	除雪融雪作業については、これまでの大雪の経験や事故・渋滞履歴等を踏まえつつ、区や総合支所と連携を図りながら対象路線を選定してまいりたい。また、生活道路等の除雪融雪については、市民や企業などの理解を得て協働の取組みをすすめてまいりたい。	建設局
84	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	水道事業の直営を堅持すること。また、県が進めるコンセッション方式による上工下水道の民営化は安全性やコストの面で問題があることから、慎重な対応を求めること	これまでも安全で良質な水道水の安定供給に努めてきたが、水需要の減少傾向や今後本格化する施設の耐震化・老朽化への対応など、経営環境が厳しさを増すことが見込まれることから、現在新たに策定中の水道事業基本計画に基づき、今後も長期的に持続可能な水道事業の実現に取り組んでまいりたい。 また、県が検討中のコンセッション方式導入については、災害時等のリスク管理の実行や県が現時点での試算を公表しているコスト削減効果の実現などが確実に果たされ、受水市町の経営改善効果が確保されるよう、17受水市町が共通認識を深めながら、県に対し求めてまいりたい。	水道局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
85	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	バス停の上屋の増設など乗り場の改善によるサービスの改善を図ること	バス待ち環境の改善によるサービス向上のため、引き続き、利用状況等を見極めながら、バス停上屋の増設や修繕等を図ってまいりたい。民間が整備する上屋等については、令和元年度から、新設に加え修繕等も対象とするよう補助制度を拡充したところである。	交通局
86	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	ガス事業について安定的な経営と需要家へのサービス向上の為、原料調達等の見直しを計ること	原料調達については、安定的な調達の観点からマレーシアからの調達に加え、パイプラインによる天然ガス調達も行っているが、更なる都市ガス供給の安定化に努めてまいりたい。	ガス局
87	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (4) 都市インフラの整備	公共施設のエネルギー源に都市ガスを積極的に導入すること。また、ガス局においては“ベストミックス”の提案などにより需要家の拡大を図ること	関係部局との連携を密にして、公共施設の新設や設備の新規導入・更新の情報を共有しながら、都市ガスの積極的な導入について対応してまいりたい。 また、エネルギーミックスによる特定のエネルギーに依存しないことの重要性や、省エネ、低炭素化など天然ガスの優れた特性を広く家庭や企業にPRし、需要の拡大に努めてまいりたい。	ガス局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
88	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (5) 震災復興・防災	震災メモリアル事業の実施にあたっては、(仮称)市民防災センター整備など市民の防災学習に寄与のできるよう検討すること	東日本大震災の経験と教訓を継承し、今後発生する災害に備えるため、市民が防災について学べる機会や場の創出について、関係部局とも連携を図りながら検討してまいりたい。	まちづくり政策局
89	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (5) 震災復興・防災	復興基金等の有効活用を図り、市民生活にしっかりと支えらるることに長期的な視点に立ったまちづくりを進めること	震災復興基金等の財源を活用し、また、国に対して必要な財源措置をしっかりと求めながら、被災された方々が地域での生活を安全安心に暮らせるよう、コミュニティ支援や災害に強いまちづくりを引き続き進めてまいりたい。	まちづくり政策局 健康福祉局
90	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (5) 震災復興・防災	東京電力福島第一原発事故による放射能汚染対策等本市負担分、および女川原発対策で独自に取り組んでいる費用について、東京電力および国から完全回収すること	福島第一原子力発電所の事故対策に係る経費については、これまでも原子力事業者への請求と国への要望を続けていく。平成23年度～平成25年度分については、平成27年11月に原子力損害賠償紛争解決センターに対して損害賠償請求の和解仲介の申立てを行い、令和元年10月に東京電力が和解金の支払い義務を認めたところである。その他の分については、和解手続を終了後、東京電力と協議した上で対応を検討する予定である。 また、原子力災害対策に要する経費についても、財政措置が講じられるよう国に要望しているところである。今後も引き続き、県や県内市町村と一丸となって取り組んでまいりたい。	危機管理室

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
91	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (5) 震災復興・防災	避難所の生活環境の向上に努めること	避難所の生活環境については、これまでも、その向上のために必要な物資を整備してきたところである。今後も引き続き避難所の備蓄スペース等も含め総合的に勘案したうえで、生活環境の向上に努めてまいりたい。	危機管理室
92	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	本市は女川原発から50km圏であり、原発事故を想定した実効性のある避難計画等の対策を講じること。また、迅速な情報提供などが出来る組織・人員体制とすること	平成25年度に策定した仙台市地域防災計画【原子力災害対策編】の中で、屋内退避及び一時移転とともに必要な体制について規定した。さらに、平成30年4月には放射性物質の大量放出に伴う被ばく対策の観点から、屋内退避及び一時移転の方法等について、計画に追記したところであるが、今後も国や県の動向を踏まえ、計画の実効性を高めるよう努めてまいりたい。	危機管理室
93	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	安全なエネルギー確保の観点から、太陽光発電など再生可能エネルギー利用の促進を図ること。また、家庭等小規模発電への支援策を講じること	防災拠点機能を有する民間施設における非常時のエネルギー確保に資する太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステム等の導入に対する補助を行っている。また、創エネルギー導入促進助成制度によるグリーンで安定的なエネルギーを供給する事業者等に対する支援を通じ、再生可能エネルギーの利用促進等に努めてまいりたい。【まちづくり政策局】 住宅等における熱エネルギーの有効活用を推進するため、家庭用燃料電池(エネファーム)や太陽熱利用システムなどの機器導入に対して補助を行い、家庭における温室効果ガス排出量の削減を進めてまいりたい。【環境局】	まちづくり政策局 環境局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
94	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり</p>	<p>省エネルギー・再生可能エネルギー事業の拡大を図ること</p>	<p>東日本震災で得た経験と教訓を踏まえ、災害に強くエネルギー効率が高い分散型エネルギーの創出等によるエネルギー自律型のまちづくりを進めている。エコモデルタウン事業や藻類バイオマス事業を推進するとともに、創エネルギー導入促進制度によるグリーンで安定的なエネルギーを供給する事業者等に対する支援等を通じ、再生可能エネルギー事業の拡大に努めてまいりたい。【まちづくり政策局】</p> <p>また、日常生活や事業活動におけるエネルギーの使い方を見直し、持続可能なライフスタイルと災害に強いまちづくりを目指して、「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の3Eに取り組み「せんだいE-Action」の推進に引き続き取り組んでまいりたい。【環境局】</p>	<p>まちづくり政策局 環境局</p>
95	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり</p>	<p>新発電装置導入への補助拡大と電気自動車および燃料電池等の補助制度を新設すること</p>	<p>防災拠点機能を有する民間施設における非常時のエネルギー確保に資する補助対象機器については、市場動向等を注視しながら適切な見直しを行い、今後も制度の利用促進に努めてまいりたい。【まちづくり政策局】</p> <p>本市の気候特性を踏まえ、温室効果ガス削減効果の高い熱エネルギーの有効活用に着目し、家庭用燃料電池(エネファーム)や太陽熱利用システムなどの機器導入に対して引き続き補助を行ってまいりたい。</p> <p>また、電気自動車については、公用車に率先導入することを通じ、引き続き市民・事業者に向けた普及啓発に努めてまいりたい。【環境局】</p>	<p>まちづくり政策局 環境局</p>

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
96	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	クリーン電力の購入拡大に取り組むこと	これまで東北電力以外の電力業者が参加する一般競争入札を行っており、今後とも、一般競争入札による調達について検討してまいりたい。	財政局
97	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	ごみ減量対策を一層強化すること。特に事業系ごみの減量対策を講じること	ごみ減量対策については、市民・事業者との協働により取り組みを進めるとともに、PDCAサイクルに基づいた進行管理を行ってまいりたい。 事業系ごみについては、平成30年4月に事業系ごみ等処分手数料を改定し、費用負担の適正化を図るとともに、平成30年度は清掃工場での内容物検査結果に基づき延べ1,255排出事業者を訪問し、適正排出を指導した。また、大規模建築物所有者・多量排出事業者等に対するごみ減量・リサイクル推進の周知啓発や、特に排出量が多い事業者等に対する定期的な訪問を行った。今後もごみ減量・リサイクル推進のためこれらの取り組みを継続・強化することにより、本市一般廃棄物処理基本計画の目標達成に努めてまいりたい。	環境局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
98	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり</p>	<p>ごみ分別・リサイクルについて、製造者・排出者の責任明確化について行政指導を強化すること。また、プラスチック製品については、容器包装に限定せず拡大して取り組むこと</p>	<p>製造者責任に関しては、拡大生産者責任の考えを基本に、制度の変更や企業の取組みの強化を、引き続き国等に要望してまいりたい。 排出者責任に関しては、清掃工場での内容物検査結果に基づき排出事業者へ適正排出を指導するとともに、大規模建築物所有者・多量排出事業者等への周知啓発や、特に排出量が多い事業者等への定期的な訪問により、引き続き、ごみ分別・リサイクルを促してまいりたい。 また、プラスチック製品については、国における検討状況も踏まえながら、市民に分かりやすい分別・リサイクルとする制度の見直しを引き続き国等に要望してまいりたい。</p>	環境局
99	<p>3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり</p>	<p>食品ロス対策について、民間事業者等とも連携して推進すること</p>	<p>令和元年度にスーパーでのフードドライブを実施するなどの取り組みを実施してきたところであり、引き続き民間事業者等との連携した取り組みを進めてまいりたい。 また、事業系食品ロスの削減を進めるため、宴会等が多いホテルや旅館の事業者団体や、大規模建築物所有者・多量排出事業者に対し、様々な機会を捉え3010運動を中心とした食品ロス削減対策の周知啓発を行ってまいりたい。</p>	環境局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、全市）

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
100	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	(仮称)「仙台市環境学習センター」を早期に整備し、環境・防災など総合的な教育施設とすること	「せんだい環境学習館 たまきさんサロン」は平成28年4月に開設以来、環境に関する図書や体験型学習教材の充実、大小学等と連携した多様な講座の開催、小学生向けの環境プログラム作成など、毎年機能の拡充を図ってきており、利用者数も年々増加してきている。今後も本市の環境教育・学習の拠点施設として、市民の利活用の促進に向けて一層の取り組みを進めてまいりたい。	環境局
101	3. 未来を守る、防災環境都市推進 (6) 環境都市づくり	ヒートアイランド対策として、建築物の緑化を進めること。市有施設はもとより、民間施設においても緑化の維持管理に努めること	建築物の緑化とその維持管理については、ヒートアイランド対策上、市有施設や民間施設において、より緑化が図られ良好な維持管理が行われるよう、助成制度や緑化計画の協議において、働きかけを行っている。	建設局
102	4. 都市経営の推進等 (1) 自治・分権の拡大	自治の拡大を実現するため“特別自治市”実現に向けた取り組みを強めること	特別自治市をはじめとした、各地域の実情に応じた多様な大都市制度の実現のため、指定都市市長会を通じて国に対して働きかけてまいりたい。	まちづくり政策局
103	4. 都市経営の推進等 (1) 自治・分権の拡大	国・地方の財源配分を見直すよう国に強く求めること。当面、配分比率を5:5とするよう求めること	消費税、所得税、法人税など複数の基幹税について、国から地方への税源移譲を進め、税の配分比率がまずは5:5となるよう、全国の指定都市と連携して求めてきており、引き続き粘り強く求めてまいりたい。	財政局

令和2年度予算に係る党派仙台市議団、全市)

番号	要望事項	要望内容	回答	担当局
104	4. 都市経営の推進等 (1) 自治・分権の拡大	適切な財政支出に努めるとともに、計画的な債務削減に取り組むこと	持続可能な財政運営という観点から、さまざまな施策の優先順位を見極めながら、選択と集中による予算の適正な配分に一層努めるとともに、市債(通常債)についても、市役所経営プランに基づき、その残高縮減を図ってきたところであり、引き続き将来に過大な負担を残さぬよう、市債(通常債)の適切な管理に努めてまいります。	財政局
105	4. 都市経営の推進等 (1) 自治・分権の拡大	臨時財政対策債の廃止を国に求めること。また、後年度払いをしつかりと担保するよう働きかけを強めること	臨時財政対策債の元利償還金については、その全額が後年度に地方財政措置されるものと認識しているが、その発行によって市債発行額抑制や市債残高削減の取組みの支障となっていないことから、速やかに廃止するよう他の指定都市とも連携しながら、国に求めてまいります。	財政局

2020年1月

「2020年度予算に係る会派要望」
に対する回答

(各区に関する要望)

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
1	青葉区	旭ヶ丘駅前の市有地の活用については地元住民の意見を反映させること	地元住民から、改めて当地に公共施設を整備する方法について再検討を要請されている。地元住民の意見を聞きながら事業の進捗が図られるよう取り組みたい。	市民局
2	青葉区	愛子駅前周辺に交番を設置すること	交番設置については、宮城県警察に継続要望しているところであり、今後も要望してまいりたい。	市民局
3	青葉区	心のケア対策推進のため、保健福祉センターおよび相談支援事業所等での相談体制の充実に努めること	心のケア対策については、相談件数の推移や相談内容などを踏まえ、引き続き相談員等の必要な人員を各区に配置するとともに、関係機関との連携も図りつつ、継続した相談支援を推進できるよう努めてまいりたい。相談支援事業所については、各区の障害者自立支援協議会における関係者同士のネットワーク構築の強化に取り組みとともに、計画相談支援を担う指定特定相談支援事業者の拡充を図るため、実務研修会の開催や未設置法人に対し個別に働きかけを行っているところである。	健康福祉局
4	青葉区	葛岡霊園内、葛岡正面前東側バス路線にカーブミラーを設置すること	東側バス路線との交差箇所については、合流する側の道路に停止線を明示し、安全確認を促しているところであり、引き続き状況を確認してまいりたい。	健康福祉局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
5	青葉区	作並地区の振興について地元や他地域や多方面の組織との協議・連携をすすめ、ラサンタの発信力強化や仙山連携の取り組み、遊歩道整備や転車台活用などを図ること	ラサンタにおいては、市ホームページ内にも紹介ページを設け発信力強化に努めるとともに、山形県最上地区の特産品を集めた物産展を行うなど、仙山連携に向けた取り組みも進めている。 また、平成28年度に締結した仙山連携協定に基づき、令和元年度には、「風っこ仙山線紅葉号」の運行に合わせイベントを作並温泉組合とも連携し実施したほか、SNSフォトキャンペーンも開催している。 引き続き、温泉旅館組合や、平成29年9月に設立された「作並・新川地区活性化連絡協議会」なども連携しながら、豊かな自然環境や温泉などの地域資源を活用した魅力発信や受入環境整備に努めてまいりたい。	文化観光局
6	青葉区	宮城広瀬野球場に夜間照明を整備すること	令和元年度に実施した芝の張り替え等、施設の老朽化対策を優先しつつ、夜間照明の整備については、夜間利用が可能な他施設の利用状況を見ながら判断してまいりたい。	文化観光局
7	青葉区	東北大学農学部跡地の施設工事および建築後にあたり、想定される周辺道路の渋滞緩和について、住民の意見を反映させた措置を講じること	東北大学農学部跡地の開発計画は、都心部における大規模複合開発であることから、歩行者の安全確保と周辺交通への影響を抑えることが重要と考えている。 これまでも、当該計画における交通処理については、キャンパス跡地全体の土地利用計画や個々の建築計画と密接に関係することから、事業者と本市を含む関係機関において、協議を重ねてきており、引き続き、関係部署で連携を図りながら、事業者に対して指導してまいりたい。 また、地域に向けては、これまでも、事業者が地域の連合町内会役員の方々の意見交換会を数回開催している他、本計画地の調査等や各種工事の状況については、計画地近隣住民へ説明をするよう指導している。 今後とも、開発計画の具体化に合わせ、適宜地域に情報提供するよう事業者に求めてまいりたい。	都市整備局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
8	青葉区	国見ヶ丘地区に対し、きめ細やかな除雪・凍結防止対策を講じること	除雪・凍結防止作業については、道路除雪等計画書に基づき、バス路線などを中心に、適切に対応してまいります。	建設局
9	青葉区	浸水被害が出ている中央1丁目地区の雨水対策を早急に講じること	当該地区については、平成30年度より浸水被害軽減総合計画の策定および基本設計に取り組んでいるところである。令和元年度は実施設計を実施し、その結果を踏まえ、令和2年度以降、対策工事を進めてまいります。	建設局
10	青葉区	吉成小学校調理場の改修、修繕を行うこと	校舎全体の大規模改修や改築等と連動した対応を基本と考えていることから、今後、関係局とも調整しながら、適切な時期での対応を検討してまいります。なお、緊急に必要な設備の修繕や清掃、厨房機器等の更新については、引き続き対応してまいります。	教育局
11	青葉区	貝ヶ森小学校跡施設にできる公文書館等の活用について、施設のあり方、運用について地元住民の意見を十分反映させること	貝ヶ森小学校跡施設活用については、地元住民への説明を重ねつつ、住民の理解を得て決定したところである。 校舎を改修して行方公文書館の概要についても、地元町内会に説明を行っているが、今後改修工事に着手することから、工事の概要も含め、あらためて地元住民に説明を行い、理解をいただきながら整備を進めてまいります。	総務局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
12	青葉区	仙台高校前から貝ヶ森4丁目、川内三百人町付近、厚生病院から尚綱学院前、教会前から子平町、厚生病院から尚綱学院のバス路線について通行に支障のないよう電柱の移設を行うこと	通行に支障となる電柱について、東北電力及びNNTTに移設の働きかけを行ったことにより、令和元年度2本の電柱が移設された。今後も移設の働きかけを継続して参りたい。	青葉区
13	青葉区	歩行等困難者のために国見コミュニティセンターに昇降機等の設置をすること	平成22年度に大規模改修を実施する際にエレベーター設置の要望があり検討したが、施工上の問題や、2Fホールの一部を廊下に改修する必要があるホールが床面積が減ることなどから、設置を見送ったところである。	青葉区
14	青葉区	東北大学工学部から東北大入試センター前、貝ヶ森6丁目から貝ヶ森4丁目および仙台高校前から貝ヶ森4丁目道路にヒーターおよび滑り止め舗装を講じること	ロードヒーターは、維持管理費など費用面に加えて地下埋設工事の際に支障が出るなど課題が多い。 すべり止め舗装については、今後、交通量や舗装全体の傷み具合をみながら検討して参りたい。	青葉区
15	青葉区	東二番町通・青葉通り交差点等主要幹線道路交差点における渋滞緩和策として右左折を含む信号表示の改善などを図ること	東二番町通・青葉通り交差点については、タクシー等の違法駐車対策として、9/4までに横断防止柵やポストコーンの設置を完了している。駐停車対策後の現場状況をふまえ、信号機改善の要否について県警やタクシー協会等の関係者と引き続き協議を進めて参りたい。	青葉区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理 番号	区名	要望内容	回答	担当局
1	宮城野区	燕沢児童館のサテライトについて、近隣への移設も含めて対策を図ること	燕沢児童館のサテライト室については、引き続き運営団体や小学校と協議しつつ、児童の安全確保のために必要な対策を講じてまいります。	子供未来局
2	宮城野区	高砂・岡田地区の東部地区の雨水災害対策の強化を図ること	高砂・岡田地区については、農地の地盤沈下を考慮し、農業用の高砂南部排水機場のポンプ台数を増加し排水機能を向上させている。また、排水機場移設により、排水先を排水規制のかかる貞山堀から七北田川に変更するなど排水の強化対策を実施している。【経済局】 高砂地区については、西原雨水ポンプ場が平成27年8月に一部供用を開始しており、今後、ポンプ増設について検討してまいります。【建設局】	経済局 建設局
3	宮城野区	住宅戸数増に対応するため、鶴ヶ谷第二市営住宅団地の再整備（低層住宅の高層化）計画を早急に進めること。併せて市営住宅建設地以外の土地の整備について住民意見を反映させること	「仙台市営住宅の整備及び管理の基本方針」に基づき、長期的な需要の推移を踏まえ、再整備事業基本計画を策定し、入居者への説明や住宅の設計に取り組んでいる。 市営住宅建設地以外の土地の整備については、望ましい土地利用に関して広くご意見をお聞きしたうえで、本市のまちづくりの方向性を踏まえながら検討を進めてまいります。	都市整備局
4	宮城野区	坂下交差点の交通渋滞対策を進めること。とくに、ガス局方面からの右折対策について、国道45号線の自転車走行帯のあり様も含めて対策を図ること	国道45号の坂下交差点については宮城県渋滞対策連絡協議会における主要渋滞箇所となっており、国などの関係機関と連携を図りながら渋滞緩和策の検討をしてまいります。	建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
5	宮城野区	ガス局前交差点について、大槻16地先に左折ラインの新設など、北行き交通渋滞の解消を図ること	左折レーンの整備などに向けて、引き続き、用地取得に努めてまいります。	建設局
6	宮城野区	与兵衛沼周辺について、青葉区小松島新堤を含め一体的に自然を生かした環境整備を進めること	与兵衛沼公園においては、都市計画道路台原南小泉線側入口付近の整備に向け現在設計を進めており、小松島新堤の自然環境にも配慮した環境整備を今後進めてまいります。	建設局
7	宮城野区	岩切2丁目13～14地区の用水路の越水対策を強化すること	水路の流れを確保するため、適切な維持管理に努めてまいります。	建設局
8	宮城野区	利府街道より黒門跨線橋への右折対策など、交差点のあり様について検討を進めること。また、黒門跨線橋から新田東地区に至る市道の拡幅を進めること	右折車線設置は、現道敷地内で右折車線を設置することは難しく、道路拡幅についても沿道利用状況から困難な状況である。 また、黒門跨線橋から新田東地区に至る市道の拡幅は、通学路安全対策を優先して実施しているため早期の整備は困難な状況であるが、交通状況の変化などを注視してまいります。	宮城野区
9	宮城野区	鶴ヶ谷東2丁目1号線～市道東葛蒲沢幹線の連続接続を早急に整備すること	平成30年度から工事を実施しているところであり、引き続き事業の推進に努めてまいります。	宮城野区
10	宮城野区	市道燕沢小鶴線(利府街道～市バス東仙台営業所)の道路改良及び歩道整備を図ること	歩道の拡幅整備は、用地の取得や建物の移転などが必要となり難しい状況である。 なお、必要に応じて路面補修など維持管理に努めてまいります。	宮城野区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
11	宮城野区	通学道路であることを意識し、市道吉ヶ沢五郎兵衛線の側溝について、住宅開発により整備された地域との連続性、一体性を考慮して整備を進めること	当該路線は道路幅員が4m未満の箇所があり、狭あい道路協議により一連の道路幅員が確保できた場合には、側溝整備等を進めてまいりたい。	宮城野区
12	宮城野区	土地所有者の変更等もあつたことなどを考慮し、燕沢東3丁目7～25地区内に市道を設置すること	市道設置は、その優先度や整備効果、地形上の問題（高低差等）などの課題があり、整備は困難な状況である。	宮城野区
13	宮城野区	市道岩切鶴ヶ谷1号線（鶴ヶ谷東2丁目16～27と燕沢東3丁目9の間）の排水対策を進めること	下水道を所管する建設局と、当該道路の維持補修を所管する宮城野区が連携を図りながら、対応策を検討してまいりたい。	建設局 宮城野区
14	宮城野区	鶴ヶ谷中央地区（業務地区・商業地域）の再整備について、地域住民の意見を反映させて取り組むこと	鶴ヶ谷8丁目の市有地再整備について、事業実施にあたり、平成30年5月から11月にかけて地元町内会等への説明会を計5回開催したほか、令和元年7月の事業候補者決定後も、工事内容やスケジュールに係る説明会を9月に開催し、意見交換しながら進めてきており、今後も進捗等を適宜報告しながら、取り組んでまいりたい。	財政局
15	宮城野区	住民が地域の歴史に触れ、健康づくりや憩いの場として利活用できるエリアとして、岩切城址古道や遊歩道や高森山公園の整備を行うこと	国指定史跡「岩切城址」を含む高森山公園の整備や鶴ヶ丘から高森山公園に至る岩切緑地の遊歩道の整備は既に完了している。今後も利用者の要望等を伺い、整備の必要性に応じて検討を行うとともに、除草など適正な維持管理に努めてまいりたい。	宮城野区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
1	若林区	井土浦川や二郷堀等主要な用排水路に残る津波残土物の撤去を早急に行うこと	これまでも現地の確認により排土物等の撤去を実施してきたところであり、今後も流水機能の支障の有無について調査しながら、必要に応じて対応してまいります。【経済局】 井土浦川については、平成30年度に下流域(井土浦川排水機場周辺)のガレキ等支障物の撤去を実施した。 今後は、流水機能の支障の有無について現地調査しながら、必要に応じて対応してまいります。【建設局】	経済局 建設局
2	若林区	老朽化している若林体育館の移転新築を早急に検討すること。また、建設用地については今泉清掃工場の移転跡地として、スポーツゾーンとして整備すること	若林体育館については、効率的・効果的な改修等により、長寿命化を図ってまいります。なお、平成30年度に外壁・屋上防水等の改修を行っており、令和2年度には内部改修や設備更新を予定している。	文化観光局
3	若林区	主要地方道井土長町線のうち、上飯田地区の歩道(用水路上部)を再整備し、安全を確保すること	整備の優先度の観点から早急な再整備は困難であるため、適正な維持管理に努めてまいります。	建設局
4	若林区	市道(若林759)中、二郷堀に架かる狭隘な橋の架け替えを早急に行うこと	当該路線の橋梁部について狭隘であることは課題として認識しており、今後、必要な対応について検討してまいります。	若林区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
5	若林区	市道(若林759)中、仙台東部道路の下部を横断するトンネルが狭く、危険であることから、歩行者および自転車専用のトンネルを新設すること	トンネルの新設については、交通量や周辺の土地利用の状況から事業化は困難であるため、現道の適切な維持管理に努めてまいります。	若林区
6	若林区	市道(若林854)中、水道橋南の地点から今泉清掃工場までの間を拡幅整備するとともに、サイクリング専用の用地を確保すること	本市道は、名取川の管理用通路となっており、堤防の管理は国土交通省が行っている。市道の拡幅は、堤防の拡幅を伴うことから困難と考えている。	若林区
7	若林区	主要地方道井土長町線で、仙台東部道路と今泉IC取り付け道路の間1.3キロを避難道路と同規格で整備すること。当面、整備が難しい場合は二木字水神から小在家バス停までの山王排水路にコンクリートの大型U字溝を整備し、車道の拡幅により通行の安全を確保すること	「津波避難施設の整備に関する基本的な考え方」に基づき、津波避難道路については、原則として沿岸部から仙台東部道路までを整備することとしている。 二木字水神から小在家バス停までの区間については、早急な整備は困難であるため、適正な維持管理に努めてまいります。	建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
8	若林区	<p>広瀬川の千代大橋から名取川との合流地点までの堤について、嵩上げまたは護岸補強など対策を講じ、流域住民の安全を確保すること</p>	<p>河川管理者である仙台河川国道事務所に要望内容を伝えたところ、次のとおり回答を得ており、引き続き国に働きかけを行い、流域住民の安全・安心の確保に向け取り組んでまいりたい。</p> <p>【国からの回答】 広瀬川の大丘管理区間の堤防については、全区間において完成断面での整備が完了している。また、護岸についても名取川合流点から千代大橋までの区間においては、堤防接近箇所など治水上必要とされる整備が完了している。</p> <p>しかしながら、浸透対策等による堤防強化が必要な区間があることから、広瀬川右岸の長町地区において平成25年度より浸透対策を実施しており、令和元年度も引き続き整備を行っている。</p>	建設局
9	若林区	若林区六郷地区等の住宅冠水を防止するため、霞の目雨水幹線の最高水位を引き下げよう、二郷堀への分水工事を行うこと	農業用施設を所管する経済局とともに、土地改良区等の関係機関と分水に向けた協議を進めているところである。	建設局
10	若林区	貞山運河西側堤防のサイクリングコース再整備に加え、荒井駅⇄震災遺構の「荒浜小学校」、および名取川河口部⇄宮沢橋の間についてサイクリングコースとして整備すること。	貞山運河西側堤防のサイクリングコース再整備については、宮城県において災害復旧に合わせ実施したところである。貞山堀以外の整備については、優先順位を考慮しながら検討してまいりたい。	建設局
11	若林区	コンクリート床で、尚且つ窪みが大きくなった六郷中学校校体育館の早期建て替えを行うこと	同校の体育館については、学校施設整備の中で対応を検討してまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
12	若林区	若林市民センター東側の市道を拡幅し、利用者等の安全を確保すること	市民センターから県道井土長町線の区間において、令和元年度から拡幅工事に着手しており、早期完成に向け進めてまいります。	若林区
13	若林区	長喜城霞目線(若林653)および境東遠谷地線(若林748)を自転車が安全に通行できる道路とすること	過年度より歩道整備工事を順次進めてきており、今後も引き続き事業を進めてまいります。	若林区
14	若林区	市道(若林653)と市道(若林645)との交差点に感応式信号機を設置し、スムーズな通行と事故の減少を図ること	交差点の拡幅を計画していることから、信号機の設置については宮城県警察に要望してまいります。	若林区
15	若林区	宮城野萩大通りの街路樹の植え替えに際しては、「ミヤギノハギ」を採用すること	宮城野萩大通りの街路樹については、当面植え替えの予定はなく、また、ミヤギノハギは萌芽力が旺盛で、通行車両や歩行者の安全確保の観点から、街路樹として選定することは課題が大きいと認識している。	若林区
1	太白区	周辺住民にとって利便性の高い駅舎となるように、南仙台駅の橋上化について、JR東日本と協議を進めること	南仙台駅の橋上化については、令和元年7月に中田地区四町内会連合会長連絡協議会より要望を受け、令和元年9月にJR東日本へ申し伝えたところであり、引き続きJR東日本と協議してまいります。	都市整備局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
2	太白区	都市計画道路郡山折立線の早期の整備促進を図ること。地域の幹線道路である南仙台四郎丸線の凍結を見直し、さらなる延長を図ること 長町八木山線の一部未開通部分の整備を促進すること	現在事業中の区間については、早期完成を目指してまいります。また、未着工の区間については、都市計画道路網の見直しによる整備優先度を考慮しながら事業化に向けた検討を行ってまいります。長町八木山線については、完成形4車線での供用に向けて、用地買収に努めてまいります。	建設局
3	太白区	茂庭台地区などを始めとする郊外部の除雪開始時間を早めるなど十分な対策をとること。歩道のない市道については、除雪を基本として進めること	除雪作業については、区や総合支所と連携しながら、バス路線などを中心に道路状況を的確に把握し、今後とも迅速な作業に努めてまいります。	建設局
4	太白区	後田川の災害対策、多自然型整備をすすめること。定期的な除草など河川管理、監視を継続すること	用地協力者、地元町内会等の協力を得ながら、災害に強く周辺環境に配慮した河川改修事業の着実な進捗を図ってまいります。また、これまでも定期的な除草、河川巡視を実施してきたところであり、適正な河川管理に努めてまいります。	建設局
5	太白区	四郎丸地域の水害対策としてポンプ場建設が予定されている。早急に予算措置を行い、建設年度を明確にすること	令和2年度の完成を目指し、流入渠等の工事を鋭意進めているところである。また、雨水ポンプ場本体の整備については、次期仙台市下水道事業中期経営計画の策定過程で検討を進めてまいります。	建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
6	太白区	水害防止に向け名取川の中州除去を民地所有者や地域住民の協力も得ながら行うこと	河川管理者である仙台河川国道事務所に要望内容を伝えたところ、次のとおり回答を得ており、引き続き国と連携を図りながら、水害防止に向け取り組んでまいりたい。 【国からの回答】大臣管理区間については、河道の状況を定期的に調査、評価し対策を実施している。 現在、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の一環として、名取川、広瀬川において河道掘削や樹木伐採を実施している。 民地については、用地調査中であり、今後土地の所有者の協力を得ながら対応していく。 適切な河道管理を行っていく上で、土地所有者をはじめ、仙台市や地域住民の協力が極めて重要であると考慮しており、引き続き連携しながら事業を進めていく。	建設局
7	太白区	都市計画道路路長町八木山線、郡山折立線の信号間隔・道路障害物の整理・円滑走行対策を行うなど安全強化を図ること	当面の対策として、路面標示や注意喚起看板、反射式道路標などを増設し、安全対策の強化を行ったところである。引き続き、完成形4車線での供用に向けて、宮城県警察との協議や、用地買収に取り組みでまいりたい。	建設局
8	太白区	西多賀中学校の校庭から野球のボールが飛び出ている。早期に校庭のネットを高く補修するなどの対策を行うこと	同校の防球ネットについては、学校施設整備の中の優先度を見極めながら改修等の対応について検討してまいりたい。	教育局
9	太白区	上野山小学校の校舎および体育館の全面改築を行うこと	同校の校舎及び体育館の建替えについては、今後、学校施設整備の中で対応を検討してまいりたい。	教育局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
10	太白区	金剛沢小学校体育館を早急に全面改築すること	同校の体育館につきましては、老朽度合等を見極めながら、今後、学校施設整備の中で対応を検討してまいります。	教育局
11	太白区	四郎丸小学校の改築を計画通り進めること。同時に冷房装置も設置すること	同校については、令和4年度中の供用開始に向けて令和元年度に実施設計を行っている。また、普通教室等へのエアコンを設置するよう進めている。	教育局
12	太白区	松が丘、恵和町地域に防災対策含め公園を新設するよう検討すること	公園を新設するには新たな用地取得が必要となり、早期の事業化には課題が多いが、公園の少ない地域であることから、防災対策の観点も含め、長期的な課題として検討してまいります。	太白区
13	太白区	市道緑ヶ丘線の恵和町交差点への信号機設置を早急に行うこと。	要望の趣旨を仙台南警察署に伝えたとおり回答を得ている。 【仙台南警察署からの回答】 変則五差路の交差点であり、北東に伸びる道路の幅員が狭いこと及び交通量が少ないこと等信号機の設置基準を満たしておらず設置に対しては多くの課題がある。	太白区
14	太白区	中田中央公園内にある「サッカー場」は砂地の為、風による砂嵐で近隣の家屋に被害をもたらしている。サッカーくじ助成金等を活用して芝生化をすること	グラウンドの芝生化には整備費のほか、維持管理に多大な費用を要するといった財政面での課題が大きいと考えている。今後、民間活力による整備手法などについて関係部局と研究してまいります。	太白区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
15	太白区	向山中央公園の入り口の改善、トイレの改修、遊具の補修などを行い、より親しめる公園にすること	向山中央公園の入り口については、令和元年10月上旬に不要な車止めを撤去し、改善を行った。 トイレや遊具などについては、今後改修や補修について検討してまいります。	建設局
16	太白区	湯元公園のトイレの改修、遊具の補修などを行い、より親しめる公園にすること	屋外トイレについては、平成29年度にひろびろトイレの新設及び洋式トイレへの改修を行ったところである。また、遊具については、平成30年度に3間鉄棒の改修及びびネット登りの補修を行い、令和元年度は大型4連ブランコの改修及びびロックング遊具2基の新設を行っており、今後とも来園者に親まれる公園を目指し整備してまいります。	太白区
17	太白区	名召公園、後田公園の樹木の剪定等をすすめ、より親しめる公園にすること	安全確保や景観向上の観点から、必要に応じ樹木剪定等を実施しており、今後とも地域住民の皆様により親しんでいただけるよう適切に管理してまいります。	太白区
18	太白区	中田町堰場「市営バス停・堰場2」前の交差点が危険な状態にあるので信号機の設置を行うこと	要望の趣旨を仙台南警察署に伝えたところ、次のおり回答を得ている。 【仙台南警察署からの回答】 以前より要望があったことから信号機の新設を警察本部に報告しているが、設置の時期など具体的なことについては明示されていない。	太白区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
19	太白区	都市計画道路南仙台四郎丸線の低木植栽及び、公園の高木・低木の剪定を年3回にすること	街路樹の低木植栽の除草・刈込については、年1回を基本として実施しているが、市民の皆様からの通報やパトロールなどで、交通の障害となっていることを確認したのものについては、適宜、除草・刈込を行ってまいりたい。 公園の高木・低木の剪定については、防犯上等の必要に応じ、予算の範囲内で適宜対応してまいりたい。	太白区
20	太白区	金剛沢三丁目と鉤取三丁目と金剛沢橋の五差路に信号を設置するなど安全対策を行うこと	要望の趣旨を仙台南警察署に伝えたとおり回答を得ている。 【仙台南警察署からの回答】 以前より要望があったことから信号機の新設を警察本部に報告しているが、設置の時期など具体的なことについては明示されていない。	太白区
21	太白区	市道上野山線の上野山一丁目付近の狭隘道路を改良すること	当該箇所の道路拡幅を伴う整備については、住宅地で建物等が連担していることにより事業化が困難であることから、現道の幅員の中で安全対策を検討してまいりたい。	太白区
22	太白区	八木山香澄町・松波町付近の商店街の歩道・道路を改良し歩行者の安全に努めること	歩道・道路の改良については、道路パトロール等により状況を確認し、当面、損傷が激しい箇所の応急対応を実施してまいりたい。	太白区
23	太白区	山田と太白団地への交差点付近の除草を徹底し、見通しの悪さの解消、児童の通行の安全対策、不衛生の解消に努めること	交差点付近の除草については、道路パトロール等により状況を確認し、適切に対応してまいりたい。	太白区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
24	太白区	<p>西多賀小学校西側(正門側)の通学路は交通量も多く、非常に危険な状況にあるので、人命を重視して、事故が発生しないように改善を図ること。学校の敷地内の使用、人家側への道路拡張などを検討しながら市道の拡幅をし、通学路を十分に確保し、安全対策を十分に行うこと</p>	<p>当該箇所の道路拡幅を伴う整備については、住宅地で建物等が連担していることにより事業化が困難である。 なお、現道幅員内での安全対策については、ドライバーへの注意喚起を目的とした「減速」路面表示を平成30年度に実施済である。</p>	太白区
1	泉区	<p>宮城県警察に平成20年5月に要望している館地区への交番設置について早急に実現するよう積極的に働きかけること。併せて交番相談員の設置に努めること</p>	<p>交番設置については、宮城県警察に継続要望しているところであり、交番相談員の配置も含め、今後も要望してまいります。</p>	市民局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
2	泉区	向陽台中学校区への市民センターの建設について、町内会等関係団体との意見交換の場をもつこと	市民センターの建設については、中学校区に市民センター、小学校区にコミュニティ・センターを重複配置としないよう整備することとしている。当地区は小中学校区同一であり、既にコミュニティ・センターがあるため市民センターを新規に配置することは困難であるが、機会を捉え地域の皆様との意見交換を行ってまいりたい。	市民局
3	泉区	明石南運動広場に、パークゴルフ練習コースを整備し、利用者の利便性向上を図ること	明石南運動広場については、身近な運動広場として行政財産である市有地の一部を地域に貸し出しているものであり、本市による新たな施設整備は困難であるが、地域の自立的な管理のもと創意工夫によって利用することに關しては、可能な限り柔軟に対応してまいりたい。	文化観光局
4	泉区	食品スーパーが閉店した鶴が丘団地の事情を把握し、食品スーパーの誘致など買い物物不地域の解消を図ること	食品スーパー等の出店に關して、民間事業者は商圏分析などにより総合的に判断し決定しており、買い物物に關するニーズも踏まえ各種の買い物支援サービスを提供しているところである。本市では商品や食材の宅配や買い物バスの運行などを行っている民間事業者の一覧表を作成し、区役所や地域包括支援センターなどで配布しているところであり、関係部局と連携を図りながら、引き続き、ニーズに応じた情報提供に努めてまいりたい。	経済局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
5	泉区	根白石地区の川向親交会等から要望されている市道の新設・改良工事や七北田川の洪水対策、雨水排水設備および交通安全・防災設備の整備等を計画的に取り組みむこと	<p>農業用水路に関しては、既存施設の維持管理に努めることで適切な運用を確保するとともに、地区全体の雨水排水対策についても関係部署との連携を図ってまいりたい。【経済局】</p> <p>河川管理者である宮城県仙台土木事務所に要望内容を伝えたところ、次のとおり回答を得ており、引き続き県に働きかけを行い、流域住民の安全・安心の確保に向け取り組んでまいりたい。</p> <p>（県からの回答）</p> <p>七北田川については、平成29年5月に避難体制の整備に向けた洪水浸水想定区域図を公表している。また、平成30年1月には河川整備計画を作成しており、特に令和元年10月の台風第19号や平成27年の関東・東北豪雨で氾濫した赤生津大橋より上流部においては、改修に向けた調査・設計・用地測量等を進めたいと考えている。</p> <p>【建設局】</p> <p>市道の新設・改良（拡幅）については、現在の交通利用状況と今後地域の皆様が望まれる状況について詳しくお話を伺いしながら、事業の可能性を検討してまいりたい。</p> <p>また、交通安全設備（ガードレール）や防犯設備（街灯）については、平成30年度に設置したところである。【泉区】</p>	経済局 建設局 泉区
6	泉区	地下鉄中央駅バスターミナル機能の拡充を図ること	地下鉄中央駅バスターミナルについては、現有機能の活用を最大限に図るべく調整を行ってきたところであり、課題となったバスの待機方法については、交通事業者と連携し待機の時間及び場所についてのルール化や巡回指導の強化により、環境改善に努めているところである。	都市整備局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
7	泉区	<p>泉中央地区の慢性的な交通渋滞の解消を図ること 当面、泉警察署前交差点で廃止された左折の矢印信号を復活させること</p> <p>都市計画道路・宮沢根白石線(工区No45)の整備については、優先順位を見直し、早期の整備を図ること</p>	<p>平成25年度に地下鉄泉中央駅周辺地区の交通環境改善に向けた調査・検討を行い、渋滞解消のための右折レーン延伸など改善策をとりまとめ、平成26年度より、関係機関において各施策に取り組みできたところである。</p> <p>今後、泉区役所建替えの検討も進めていく中で、今回要望のあった泉警察署前交差点における信号表示も含め、更なる改善に向けて、引き続き、交通管理者をはじめとした関係機関と協議等を進めてまいりたい。</p>	都市整備局
8	泉区	<p>都市計画道路・宮沢根白石線(工区No45)の整備については、優先順位を見直し、早期の整備を図ること</p>	<p>当該路線の整備については、都市計画道路網の見直しによる整備優先度も考慮のうえ、関係機関などと調整を図りながら判断してまいりたい。</p>	建設局
9	泉区	<p>八乙女中央3丁目の雨水冠水対策と八乙女中央4丁目の雨水冠水対策として、雨水排水ポンプの定期的維持管理と真美沢堤から排水される用水路の越水対策を講じること</p>	<p>雨水排水ポンプは、今後も定期的に点検を実施していく。 真美沢堤からの排水による溢水対策として、降雨情報を確認し、事前に堤の水位を低下させ流出量を抑制する対応を今後とも継続してまいりたい。</p>	建設局

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
10	泉区	泉区内に「聞こえの教室」の設置拡大を図ること。設備については、通学の利便性に配慮すること。拡大が難しい場合は、交通利便性に配慮し、移転等も検討すること	現在、本市北部を主な対象として、桜丘小学校に聞こえの教室を設置している。 聞こえの教室の整備については、雑音を遮蔽した教室など特別な施設が必要なことから、地域的なバランスや交通の利便性などを考慮の上、拠点の学校への配置としているところである。	教育局
11	泉区	山の寺1丁目ならびに2丁目の私道の市道化を進めること	市道に移管するためには、全ての地権者からの寄付が必要となることから、引き続き境界確定立会い等の機会をとらえて地権者に働きかけ、仙台市の持ち分を増やしていくよう努めてまいりたい。	泉区
12	泉区	イズミティ21前交差点の安全対策として、次の点を実施すること 東進してきた路線バスがスムーズに右折できるよう右折車線を整備すること 西進してきた路線バスが右折する際に障害となっている道路標識の移動およびガードの一部撤去すること	当該交差点の東進方向の右折車線設置については平成29に泉警察署等の意見を聞きつつ検討を行ったが、イズミティ21側への拡幅が必要となり設置は困難である。 西進してきた路線バスが右折する際に障害となる道路標識等については、令和元年10月にガードを1本撤去したところである。また、宮城県警察においては、平成30年度に道路標識板の位置を調整したところである。	泉区

令和2年度予算に係る会派要望（社民党仙台市議団、各区）

整理番号	区名	要望内容	回答	担当局
13	泉区	向陽台中学校前交差点の渋滞緩和を図ること 当面、冬期間における事故防止対策や安全策を講じること	当該交差点付近には、その他の交差点が近接している状況から、対応が困難な状況である。 当面の冬期間における事故防止対策や安全策として、令和元年9月に右折レーンを後退させるとともに令和元年11月に凍結防止剤の箱を設置したところである。	泉区
14	泉区	交通死亡事故が起きている高森3丁目4-6交差点に信号機を設置すること	信号機設置については、宮城県警察に要望しているところであり、今後も要望してまいりたい。	泉区

